

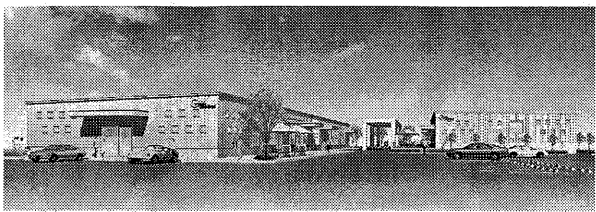
JFE北陸システム建築協力会

新製品説明会開く

多雪区域型 「クイックメタル」などPR

JFEシビル北陸営業所(所長・東司氏)管内のシステム建築「メタルビル」の施工店などで構成する「JFE北陸システム建築協力会」(会長・西村仁中越鉄工社長)は4日、金沢市のホテル日航金沢で「JFE北陸システム建築協力会製品説明会」を開催、22人が参加した。

冒頭、西村会長が「きょうは『クイックメタル』の新製品などを紹介いただく。短納期で良い建物を求め



製品説明会場①とクイックメタル「SRF150タイプ」の完成イメージ図

ている施主に提案できるので、我々も今後の販売に力を入れていきたい」と挨拶した。続いてJFEシビルの森田昌敏常務システム建築事業部長が「製品説明会では技術的な説明に終始しがちだが、製品をどう売り込むか、商売にどう結び付けられるか」という相談もできればと述べた。その後「クイックメタルSRF150タイプ(多雪区域向け)などの製品説明が行われた。

同社のスピード設計

通省の図書省略認定を取得している。在来工法に比べ構造設計作業を半減以上、確認申請期間を2週間から1カ月短縮できるのが特長。

今回新たに開発した「SRF150タイプ」は、垂直積雪量150kg/㎡以下の多雪区域で適用でき、既存の一般地域向け「LRF-Wタイプ」(垂直積雪量40kg/㎡以下)と比べ適用エリアが拡大。対象地域は富山県、石川県および新潟県(条例により福井県を除く)のほか、仙台市北西部、東北地方および北海道、岐阜県の一部(本巣市、郡上市、下呂市)、滋賀県、兵庫県北部、中国地方の山間部などで適用可能となった。

スパンは9×20・7桁、軒高5×6桁、延べ床面積207・9×1502・8平方桁、桁行間隔6桁と、一般地域向けの製品より建物規模が小さく、用途は店舗や事務所向けとなるが、基本仕様は一般のメタルビルと同形式を使用できる。同社では今後、多雪区域を含めた全国各地で「クイックメタル」の積極的な拡販を図る考えだ。

また会場では、自走式立体駐車場「メタルパーク」や一柱一杭工法「いちいち基礎工法」などの説明も行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。